【必修領域】　試験一括型

<table>
<tr><th>主な受講対象者</th><th>全教諭対象</th><th>履修対象職種</th><th>教諭・養護教諭・栄養教諭</th></tr>
<tr><td>開設講習名</td><td colspan="3">【必修】教育の最新事情（Ａ）</td></tr>
<tr><td>開設日</td><td colspan="3">令和３年（２０２１年）７月１７日（土）</td></tr>
<tr><td colspan="2">履修認定試験＜試験一括型＞
（４限終了後に試験を実施します。）</td><td colspan="2">試験時に配付資料・ノートの参照：可
（タブレット端末の参照は不可）</td></tr>
<tr><td colspan="2">担当者からの連絡事項等</td><td colspan="2">当日、資料を配付します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">１限
(9：00～10：15)</td><td>科目名</td><td>国の教育政策や世界の教育の動向</td><td>担当者</td><td>重親　龍志
（大分県教育庁 教育改革・企画課長）</td></tr>
<tr><td colspan="4">１．国の教育政策の動向、及び関連する大分県の教育改革の取組について理解する。

２．国際比較や他国の事例など国外の教育政策の動向について学習する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２限
(10：30～11：45)</td><td>科目名</td><td>教員としての子ども観、教育観等についての省察</td><td>担当者</td><td>清水　良彦（教育学部准教授）</td></tr>
<tr><td colspan="4">１．時代の変化の中で、「教師」に向けられる眼差しがどのように推移しているのかを理解する。
（１）中央教育審議会答申等から今後求められる教員の資質・力量を把握する。
（２）最近の新聞報道等をもとに学校現場・教師を取り巻く社会的状況を理解する。
（３）保護者や地域住民、子どもが求める「教師像」について統計調査等をもとに考察する。
２．自身の持つ教職に対する価値観を見直すための省察の概念と、その基盤となる実践記録の意義を理解する。
（１）　教育学研究における省察の概念を理解する。
（２）　省察の基盤となる実践記録の意義について確認する。
３．以上の内容を通して各自の教育実践の前提となる子ども観や教育観等について問い直す。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">３限
(12：45～14：00)</td><td>科目名</td><td>子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見
（特別支援教育に関するものを含む）</td><td>担当者</td><td>衛藤　裕司（教育学部教授）</td></tr>
<tr><td colspan="4">１．自閉症スペクトラム障害（ASD）について知る。
①医学的診断・教育的判断の現在、②心理学的理解
２．自閉症スペクトラム障害の教育的対応（ASD）について知る。
①教育課程、②学習上の特性、③指導方法・技術，④二次障害
３．自閉症スペクトラム障害（ASD）のある子どもの人生</td></tr>
<tr><td rowspan="2">４限
(14：15～15：30)</td><td>科目名</td><td>子どもの生活の変化を踏まえた課題</td><td>担当者</td><td>藤田　敦（教育学部教授）</td></tr>
<tr><td colspan="4">１．現代社会における「キャリア教育」の必要性
近年，不登校やニートなど「学び」「働く」ことから遠ざかろうとする若者が増えている。このような社会を背景として，なぜ「キャリア教育」が学校において重視されるのかについて考える。
２．「学習観」「職業観」から見えてくる子どもの姿
自己・社会認識の実態の中から，特に，子どもが抱いている学習観や職業観について理解する。その現代の子どもたちに伝える「生きる」ために「学び」「働く」ことの意義には、どのような考え方があるのかを知る。
３．子どもの「職業観」の形成を支援する教師の役割
現代社会を生き抜く子どもに必要な「キャリア教育」の具体的な実践を考える手掛かりとして，子どもの将来のキャリア形成に影響する学校における体験について理解する。</td></tr>
<tr><td>(15：45～16：45)</td><td colspan="4">履修認定試験</td></tr>
</table>